

企業理念と経営理念

当社の企業理念には、お客さまや社会のニーズに対し不屈の精神で製品開発に取り組み、社会の発展に貢献することにより、持続的な企業の発展を目指すという思いが込められています。

この企業理念に基づき、社会と共生し、すべてのステークホルダーの皆さまに信頼され支持される健全で効率的な企業経営を推進することにより、継続的な企業価値の向上を図ります。

企業理念

私たちは「求める心とみんなの力」を結集し、
セキュア (安心・確実) な社会の発展に貢献します

経営理念

- ・絶えざる開発の心で、お客さまから信頼される製品とサービスを提供します
- ・個性の尊重とチームワークにより、活力ある企業グループをつくります
- ・良き企業市民として行動し、社会との共存・共生に努めます



2017中期経営計画

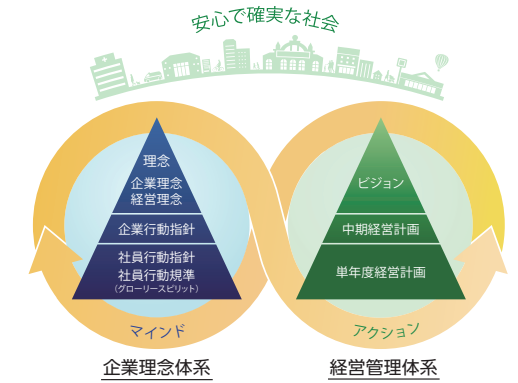
基本方針

長期ビジョン達成に向けた「顧客起点のモノづくり」による事業成長と収益性向上

	事業戦略	機能戦略	企業戦略
基本戦略	事業規模・領域の拡大による収益性向上	市場ニーズに応える製品及びサービスのタイムリーな提供	グループ経営基盤の強化
分野・領域	国内事業 海外事業	製品開発 生産・調達 品質保証	グループ・ガバナンス 人事 資本・財務 情報システム

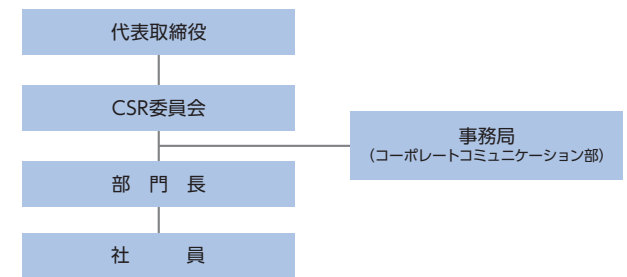
グローリーが考えるCSRとは

当社グループのCSR (企業の社会的責任) は、企業理念を実現していくこと、すなわち、通貨処理機という公共性の高い製品やサービスを通じて、お客さまの効率化、厳正化ニーズに応え、安心で確実な社会の発展に貢献していくことです。



CSR推進体制

当社グループはCSR経営を推進していくために、経営層から構成される「CSR委員会」を設置しています。委員会は年2回開催し、CSR経営に関する基本方針や基本計画、CSR活動に関する年度重点方針の策定などを行っています。



CSR教育

企業理念の実現に向けた意識を共有するため、企業理念や経営理念、企業行動指針などを掲載したハンドブック「私たちの指針」(8カ国語に対応)をグループ全社員に配付しています。また、eラーニング形式によるCSR研修の実施や、社内イントラネットでCSRに関する情報を発信するなど、CSRへの理解促進を図っています。



重要課題特定の進捗状況

当社は、ステークホルダーからの信頼を得て、持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けるために、CSR課題を把握し整理したうえで、社会への影響度と自社における重要度を合わせて考慮し、当社にとっての重要課題の特定を進めています。

2016年度は、GRI ガイドライン、ISO26000などの世界的な枠組みを参考にし、企業理念や経営理念、企業行動指針などと照らし合わせながら、まずは社内のお客さまの意見をもとに課題を整理しました。

2017年度は、複数の社外有識者との対話などを通して、整理した課題の妥当性を確認し、CSR委員会で審議のうえ特定します。特定した重要課題は、中期経営計画とも連携し、PDCAサイクルを通じて適切にマネジメントしていきます。



社内のお客さまの意見をもとに課題を整理

Voice



京都文教大学
総合社会学部教授
島本 晴一郎 様

グローリーの重要課題はバリューチェーンに即して特定されており、現場主義を生かしたものと評価できます。それらの課題は持続可能性を軸とした領域をおおむねカバーしており、重要課題の優先順位付け作業は、本業、ステークホルダーの2軸からなるマトリックスを利用し、GRIガイドラインを忠実に踏まえたものとなっています。企業理念にセキュア (安心・確実) な

社会を標榜するグローリーが、自社が率先して取り組む社会課題を明確にし、ステークホルダーとの対話を本格的に開始したことは、同社と関連のあるサプライチェーン全体にも良い影響を与えていくものと思われます。

今後も、社会からの要請に適切に応えつつ、継続的なPDCAを通じて、グローリーのCSRのさらなる進化を期待しています。